





放火火災に気をつけて！！

放火火災の事例

- 家の外やごみ収集場所に置いている不用品、古新聞等に放火される。
- 共同住宅等の玄関や階段等の共用部分に置いている物に放火される。
- 郵便受けの新聞やチラシ類に放火される。
- 車やバイクのボディーカバーに放火される。



ご家庭での放火防止対策

 <p>家のまわりを明るくし、燃えやすい物を置かない</p>	 <p>ゴミは収集日に決められた場所・時間に出す</p>
 <p>物置・車庫には鍵を</p>	 <p>車やバイクには防災製品のボディーカバーを使う</p>

住宅用火災警報器の維持管理をお願いします。

火災を早期に発見し、いち早く消火や避難を行い、被害を最小限にとどめるため、住宅用火災警報器の設置が義務化されています。設置から10年以上が経過すると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、定期的に点検を行い、必要に応じて交換しましょう。



問い合わせ先 宮崎市消防局 予防課 ☎ 0985-32-4904